

7月14日の大雨・強風にもなう農作物の事後対策

平成28年7月15日

農業技術課

平成28年7月14日に県内で、大雨、強風、降雹が観測されました。被害等の状況にあわせ、以下の対策の徹底をお願いします。

〔果樹〕

【スモモ・モモ等】

- ①収穫前の園で、果実に裂果やキズ果の被害が発生している場合は、果実腐敗病の発生が心配されるので、防除暦を参考に果実腐敗病防除剤による防除を至急実施する。
- ②強風や雨により落果した果実は、果実腐敗病等の伝染源となるため、速やかに園外へ持ち出すか土中に埋める。
また、樹上でも損傷が大きく腐敗の恐れのある果実は除去し、落果したものと同様に処分する。
- ③太枝が裂けた場合は、裂傷部をビニールで覆い、縄等で結束する。なお、裂傷がひどい場合は、裂傷部を平らに剪除し、ゆ合剤を塗布する。

【ブドウ】

- ①果房の被害程度を確認し、降雹による損傷がある果粒や裂果した果粒を除去する。
また、果房が袋内にある場合も袋内を確認し、傷果を除去する。
- ②枝葉に裂傷のある場合は、慣行防除（ボルドー液、カサかけの場合は棚上散布）を徹底する。収穫後の品種についても防除を徹底する。
- ③枝葉の裂傷の程度が大きい場合には、メリット青400倍の葉面散布を行う（ボルドー液との混用可）。

〔野菜〕

- ①茎葉の損傷などにより、病害の発生が懸念されるため、防除基準にしたがって予防散布を徹底する。
- ②茎葉の損傷が激しい場合は、樹勢回復を図るため液肥による葉面散布を行う。
- ③ナス、キュウリ、トマト等は、キズ果を早めに除去し、樹の負担の軽減を図る。
- ④倒伏したものは速やかに引き起こし、誘引する。この際、根を切らないように注意する。
- ⑤スイートコーンは、無理に引き起こすと根を傷めるので、原則そのまま管理する。
管理作業等の支障になる樹については、なるべく根を切らないよう引き起こす。

〔花き〕

- ①露地切り花が倒伏した場合は根を切らぬように引き起こす。
- ②茎葉の損傷により、白さび病、灰色かび病など病害の発生が懸念されるため、防除基準にしたがって予防散布を徹底する。

〔その他〕

引き続き、不安定な天候が予想されるため、あわせて以下の対策を徹底してください。

○共通事項

- ①気象情報に注意し、事前対策を早め実施する。強風下での作業は、人的被害の危険性が高まるので、強風が収まるまでは、見回り等を行わない。また、大雨の後は、増水した水路その他、危険な場所には近づかないなど安全には十分注意し、転落、滑落事故に遭わないように慎重を期す。
- ②ハウス等については、強風に備え、金具等の緩みなどを点検、補修するとともに、マイカ線などによる被覆資材の固定、妻面の補強など、暴風対策を実施するとともに、飛来物による損傷を防止するため、周辺で強風によって飛ばされる恐れのあるものは、あらかじめ片付けておく。また、農機具庫や作業小屋等についても必要な補修や強風対策を行う。
- ③収穫期を迎えた農作物については、集出荷施設等の指示に従って収穫を行うが、未熟なものは収穫しない。

1 果樹

<果樹共通>

- ①冠水、滞水の恐れのあるほ場では、排水路を点検、補修、整備する。
- ②傾斜地等では、樹冠下の土壌流亡を防ぐため、敷ワラや敷草を行う。
- ③収穫期を迎えている果実は速やかに収穫する。

<立木果樹>

- ①倒伏や主幹部の損傷を防止するため、支柱等により固定する。帆柱が設置してあるモモ園等では針金を点検し補修する。
- ②スモモ等では、枝のゆれによる落果を防ぐため、風の当たりやすい枝を中心に支柱などにより固定する。

<棚栽培果樹>

- ①強風による棚のゆれや倒壊を防ぐため、つか杭を追加設置する。
- ②ブドウでは、新梢が強風により棚から外れるのを防ぐため再誘引を行う。
- ③ブドウおよびナシ・モモ・スモモの棚栽培では、棚の周囲に防風ネットを設置する。

<施設果樹>

- ①施設栽培では、棚やパイプ等の骨材の点検を行い、必要に応じて補修や補強を行う。特にビニールがまくられないようにマイカ線等の点検を徹底する。
- ②オウトウやブドウの雨除けハウスでは、施設の倒壊を防ぐため、風が強くなる前にビニールを巻き上げる。

2 野菜

- ①ほ場周辺の排水路を点検、補修、整備し、排水路からの逆流防止のため、ゴミ等を取り除く。また、ほ場内には、排水溝を設ける。
- ②風の強く当たる地域では、ほ場周辺に防風ネットを設置する。

- ③ハウスや雨除け施設などの支柱や基礎などを点検、補強するとともに、ビニールがまくられないようにマイカ線等を点検し施設の被害防止に努める。
- ④強風による飛しょう物で、ハウスなどの施設が損傷を受けないように、周辺の清掃や防風ネットを設置する。
- ⑤ナス、トマト、キュウリは、倒伏を防ぐため、支柱の補強、固定、誘引等を行う。

3 花き

- ①野菜の事前対策①～④に準拠して、被害防止に努める。
- ②露地切り花は、フラワーネットや支柱などの点検・補強を行い倒伏防止に努める。
- ③鉢花の露地ベンチ栽培では、ベンチに固定できる鉢利用（C鋼鉢）や穴あきトレーを利用するなど倒伏防止に努める。

4 水稻

- ①浸水・冠水害を防止するため、排水路の点検、補修、ゴミの除去を行う。
- ②事前に水口、排水口をふさぎ、水の流入を防ぐ。

5 大豆

- ①ほ場周囲に排水溝を設置する。
- ②滞水しやすい部分には、あらかじめ溝切りをする。

6 畜産

- ①畜産施設については、損傷、倒壊等为了避免するため早めの点検を行い、必要に応じて補修を行う。
- ②畜産施設への浸水の恐れがある場合、溝を掘るなどして排水に努める。また、畜舎への浸水等による家畜への被害に備え、事前に避難場所の確認などを行う。
- ③停電や断水等への対応を確認し、必要に応じて発電機等の手配をするとともに、搾乳作業やバルククーラーの冷却に支障のないよう、万全を期す。